

**生活支援体制づくり協議体（地域包括支援センター天竜
担当圏域レベル）開催報告書**

1 開催日時	令和 8年 2月25日（水） 13時30分 ～ 15時00分
2 開催場所	天竜保健福祉センター
3 参加者	21名 (委員11名、事務局 5名、関係機関6名)
4 協議内容	<p>1 開会</p> <p>2 あいさつ 浜松市高齢者福祉課</p> <p>○補聴器事業 →加齢性難聴者への補聴器購入補助を検討</p> <p>○緊急通報システム →緊急時に簡単な操作でセンターへ通報でき、状況によっては救急車を呼ぶことができる。携帯電話のシステムを活用した緊急通報システムを検討中。</p> <p>3 情報交換・意見交換</p> <p>(1) 情報交換</p> <p>○生活支援体制づくり第1層協議体について 地域支援課：塚田 家事支援に伴う、外出支援について 市内5カ所の活動実態について調査 外出支援ボランティアの安全運転講習ができていないとの意見があり、1月23日にモデルケースとして研修会を実施。活動を検討する他地区の参考になる資料として「立ち上げガイド」の作成を調整中。設立、運用、定着までのプロセスの情報提供ができればと考えている。</p> <p>和田地区→地域たすけあい事業、笠井地区→外出支援事業 再来年で、第2層協議体が10周年を迎える状況である。 →「外出支援」を5地区でやっているとの事でしたがどのようにやっているのか知りたい。</p> <p>○各地区部会の取り組み状況</p> <p>【熊地区】 昨年度から買い物ツアーを実施している。地区社協だよりの特集記事として、高齢者の声も大切だが、その高齢者を支える若い世代の声を拾っていくことも大切とのことから、今年度は子どもたちの声を掲載した。11月には地域サロン「どっこいしょ」を復活させる形で開催した。参加者は多く集まり、来年度以降の継続的な開催を検討している。</p> <p>【上阿多古地区】 少子高齢化が進む中で、杖をついて歩いている状況。子どもがおらず、若い人がいない。若い人達が行動してくれる場づくり、関わるきっかけを作っていく。「遊ぶ」「教えてもらう」→スマホ交流会・ボッチャ交流会を実施。自分たちでできる事を少しずつやりながら進めている状況。 若い人達が地域を引っ張っていくきっかけを作っていかななくてはと感じている。</p> <p>【二俣地区】 きこりのラジオ体操、自主運営も少しずつできるようになっている。今までの活動を振り返ることも行っている状況。</p> <p>【光明地区】 地域の現状把握で、アンケートの実施。何か形にできるものという事で「困った時の連絡帳」作成を考えている。いかに活用してもらえようにつなげて行けるかをみんなで意見を出すことをしている。</p>

「地域のたすけあい事業」についても4月～スタートが出来るように調整中。

【竜川地区】

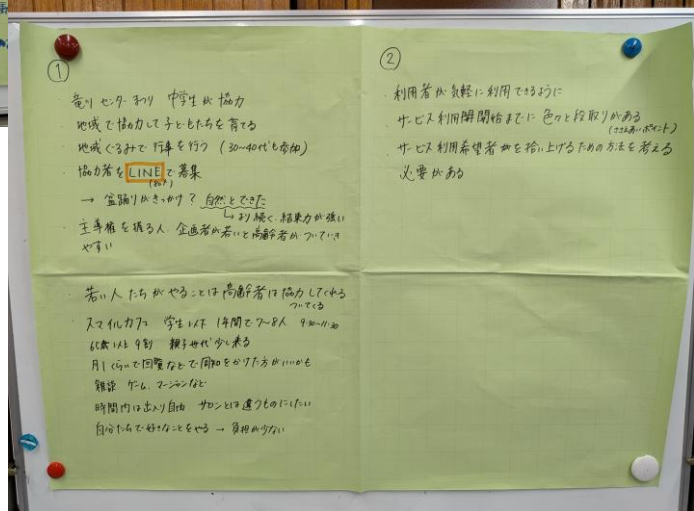
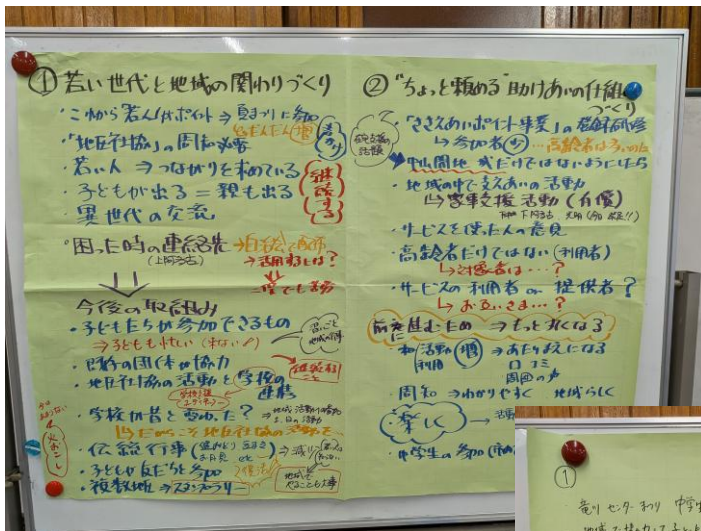
1月11日に餅つき大会が開催された。子どもたちが多く集まり、地域の交流を深めることができた。5年後の竜川地域を考えるためにアンケート調査を行った。集計が終わり、どのような分析ができるのか楽しみ。

【春野地区】

春野中学校で福祉講座を行った。さりげない見守りが必要になる。来年度以降の実施を検討している。「春野地区部会の思い」について見直し、最終的に3つの項目を立て、決定した。

(2) 意見交換 ※2グループに分かれ実施

- ①若い世代と地域の関わりづくりについて
- ② “ちょっと頼める、助けあいの仕組みづくりについて”



4 その他

5 閉会

5 今後の見通し
必要な対応

来年度では、今回提案された内容を各地区で参照しつつ、若い世代からの関心の取り込みや助けあい活動の利用につながる話し合いを行っていく。
また、新たに介護予防に関するテーマも含めていく事を検討したい。